

**公益財団法人横須賀芸術文化財団**  
**平成 24 年度第 4 回評議員会**  
**議 事 録**

- 1 開催日時** 平成 25 年 3 月 26 日（火）午前 10 時から午前 10 時 40 分まで
- 2 開催場所** 横須賀芸術劇場 大劇場 楽屋 8
- 3 出席者** 評議員総数 5 名  
出席評議員 5 名  
上田滋、岡朋子、菊池匡文、下里矩生、福本眞和  
出席理事 1 名  
原田恵次（業務執行理事・常務理事）

**4 議長** 福本眞和

**5 報告事項**

- ・平成 24 年度自主公演事業計画の一部変更について
- ・平成 24 年度第 4 回理事会以降における理事会の決議事項について
- ・平成 24 年 7 月 1 日以降の職務の執行状況について

**6 議事の経過概要及びその結果**

定刻に評議員全員の着席を確認し、天沼事業部長が開会を宣言。

定款第 18 条の規定に基づき、出席した評議員の互選により福本評議員が議長に選出され、併せて、定款第 22 条第 2 項の規定に基づく議事録署名人となった。

福本評議員が定款第 19 条第 1 項に規定する定足数を満たしていることを確認し、本評議員会が有効に成立した旨を宣言し、各報告事項の説明に入った。

**(1) 報告事項**

**・平成 24 年度自主公演事業計画の一部変更について**

大倉事業課長が詳細を説明。

平成 24 年度自主公演事業については、当初、56 事業 65 公演を実施する旨承認を受けたが、そのうち追加実施見込みの 11 事業 11 公演については、8 事業 8 公演を実施し 3 事業 3 公演を取り止めることとし、更に、1 公演を延期することをそれぞれ決定し、53 事業 61 公演となる見込みであることが説明された。

評議員から質疑がなされなかった。

**・平成 24 年度第 4 回理事会以降における理事会の決議事項について**

柳田管理課長が詳細を説明。

平成 24 年度補正資金収支予算書、並びに平成 25 年度事業計画及び予算を中心として報告された。

柳田管理課長が詳細を説明。

平成 24 年度補正資金収支予算については、主な補正内容は、大劇場客席ロビーのカーペットの経年劣化が著しいため、その張替え費用を捻出するための資金調整、並びに平成 24 年 3 月に満期償還を迎える地方債の買替えに伴う取得単価の増

額、将来の事業資金を確保するための特定資産への積増し等であり、カーペットは建物所有者である横須賀市に寄附するため、寄附金支出として計上するとの内容であった。

平成 25 年度事業計画については、公益目的等各事業区分に沿って、予算については、資金収支予算書、収支予算書（正味財産増減予算書）及び「資金調達及び設備投資の見込みについて」について、それぞれ説明。

説明によると、当財団は、横須賀芸術劇場の指定管理期間の第 2 期の 4 年目（最終年）を迎える。平成 25 年度は、劇場が「市民の賑わいと交流を生む場」、「文化振興の拠点」として更に充実するよう、舞台・音楽をはじめとする芸術文化に関する事業を実施し、横須賀の芸術文化の創造及び発展並びに文化的な潤いのある地域社会の実現に寄与していく。また、長年にわたる劇場の管理運営の経験と実績をもって、更なる顧客満足度の向上を図り、適切な管理運営を行うとともに、常に地域に親しまれる劇場として地域の活性化及び芸術文化の振興を図っていく。なお、平成 26 年 2 月に横須賀芸術劇場が開館 20 周年を迎えることから、平成 26 年 2 月から周年記念事業を展開していく。

予算については、資金収支予算書上は、事業活動収支の当期収支差額は黒字で、予備費等を含めると当期収支差額 0 円とする。収支予算書上は、賞与引当金繰入額、減価償却費等を計上すると当期一般正味財産増減額は黒字であり、よって公益目的事業会計に収益事業等の利益額を 50%以上振り替えたあと、収益事業等会計に当期増減額が残る予算とする。また、保有債券の償却原価法による修正額を計上すると当期指定正味財産増減額は赤字であり、更に「資金調達及び設備投資の見込みについて」において会計ソフト購入費用を計上するとの内容であった。

評議員から質疑がなされなかった。

#### ・平成 24 年 7 月 1 日以降の職務の執行状況について

小沢理事長、木村副理事長及び原田常務理事に代わり、大倉事業課長が報告。

横須賀市に関連する事項として、横須賀芸術劇場及び地下駐車場次期指定管理者公募申請について、平成 24 年 12 月に次期指定管理者の内定を受け、現在、平成 25 年第 1 回横須賀市議会定例会において審議中であることのほか、指定管理業務に係る月次報告、平成 23 年度（6－3 月期）事業報告及び決算並びに平成 24 年度事業計画及び予算に係る市議会向け経営状況の報告、市内外の企業に対し事業協賛の依頼を行ったことなどが報告された。

評議員から質疑がなされなかった。

以上をもって、議事全部の審議及び報告が終了したので、午前 10 時 40 分、議長が閉会を宣し、解散した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長が記名押印する。

平成 25 年 3 月 29 日

公益財団法人横須賀芸術文化財団

議 長  
評 議 員

福 本 眞 和

印

本議事録の作成にかかわる職務を行った者の氏名

公益財団法人横須賀芸術文化財団

常務理事（事務局長） 原田恵次

管理部管理課 佐久間陽一